

起業家へ10人意欲

八学大 養成講座始まる



大谷センター長(左端)から講座の進め方について説明を受ける受講者

八戸

八戸学院大学・八戸学院短大地域連携研究センターが主催する起業家養成講座が、今年も八戸市で始まった。12期目の今回は市民ら

10人が受講。来年2月まで計15回の講座を通して専門知識を学び、実際の起業を目的としたビジネスプランを作成する。

受講者は20〜50代の会社経営者や会社員、自治体職

員らで男性8人、女性2人。八戸ポータルミュージアム「はっち」でこのほど開かれた初回の講座では、それぞれが自己紹介し、「新しいビジネスモデルをつくりたい」「勉強して自分を変えたい」などと抱負を語った。

同センター長で講座の主任講師を務める大谷真樹同大学長は「講座は議論の場、仲間づくりの場。回を重ねることに何をやりたいのか、何がやれるのが見えてくる。途中でやりたいことが変わることもあるが、変わることは健全なこと」と激励した。

同講座は「10年で100人の起業家をあおもりから」をスローガンに2009年に開講。毎回約2時間、お互いの夢を語ったり、アイデアを組み合わせたりしながら各自のプランを磨き、形にしていく。同大学の教授陣や客員研究員らがノウハウを伝授する。これまでに約130人が受講し、25人が起業したり、既に経営している会社で新たな事業を起こしたりしている。

(館花光秀)